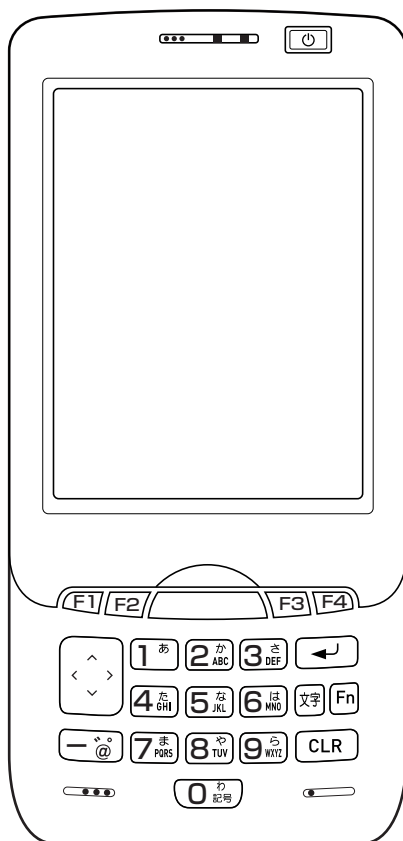


CASIO®

# モバイルコミュニケーションターミナル DT-5300シリーズ

## 取扱説明書

- ・この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますのでご使用前にひと通りお読みください。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。  
本書はお読みになった後も大切に保管してください。
- ・保証書の記入を確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。



 **Bluetooth®**

BLUETOOTHは、Bluetooth SIG, Inc., U.S.Aが所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

Microsoft, Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

# 安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



分解禁止

⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



プラグを抜く

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

## 使用上のご注意

### 警告

#### ■ 分解・改造しないでください



分解禁止

- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。

#### ■ 異常状態で使用しないでください



注意

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。

#### ■ 異物が中に入ったときは



注意

- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

#### ■ 破損したときは



注意

- 万一、本機を破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

#### ■ 水などがかからないようにしてください



禁止

- DT-5300は防沫仕様ですが、オプションのI/Oボックス等は防沫仕様ではありませんので、水などがかからないようにしてください。また、DT-5300を濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

## 警告

### ■ レーザ光をのぞき込まないでください



- 本機は、レーザー光でスキャンします。  
レーザー光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

### ■ 引火性ガスが発生する場所では



注意

- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にハンディターミナルの電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。

## 注意

### ■ 異物が入らないようにしてください



禁止

- 内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

### ■ 設置場所について



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。

### ■ 本機の上に重いものを置かないでください



禁止

- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

### ■ 表示画面の取り扱いについて



禁止

- タッチスクリーンを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。タッチスクリーンや液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
  - ・ 万一、口に入った場合は、すぐうがいをし、医師に相談してください。
  - ・ 目に入ったか、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

## 無線通信機能の取り扱いについて

### 警告

#### ■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



注意

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。  
電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能をOFFにしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

### 注意

#### ■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



注意

- 本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。  
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
  - その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「商品についてのご相談」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

**2.4FH1**  


この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

**2.4DS/OF4**  


この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

## 別売のリチウムイオン充電電池パックについて

### 危険



禁止

- 充電電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックはプラス・マイナスの向きが決まっています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックの⊕と⊖端子を針金などでショートさせないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。金属類が端子に触れてショートすると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。充電電池パックを持ち運ぶときや保管するときは、充電電池パックに付属のソフトケースを取り付けてください。
- 充電電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

## ⚠ 警告



禁止

- 充電電池パックを電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから異臭がする、発熱、変色、変形している場合は使用しないでください。そのまま使用すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電電池パックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。この異常な充電電池パックを充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから液がもれていたり、異臭がする場合は火気から遠ざけてください。引火して充電電池パックを破裂、発火させる原因となります。
- 充電電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。

## ⚠ 注意



禁止

- 充電電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックを発熱、発火させる原因となります。また、充電電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 静電気の発生する場所で充電電池パックを使わないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
- 充電電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。



## 車載充電器の使用について

### 警告



禁止

- 自動車の運転中におけるご使用はしないでください。ご使用になる場合は必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所には置かないでください。



注意

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



禁止

- DC12/24Vマイナスアース車専用です。
- コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)新しいものと交換してください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



注意

- 使用するときは、必ず同梱のカープラグコードをお使いください。専用品以外のカープラグコードを使用すると、火災・感電の原因となります。

### 注意



注意

- 車から降りるときは、必ず本機の電源をOFFにしてください。車のバッテリーがあがることがあります。
- 車のエンジンを停止した状態で長時間ご使用になると、車のバッテリーが消耗しますので、ご注意ください。



禁止

- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。
- エアバッグ(SRS AIRBAG)が装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所に取り付けしないでください。

## AC電源の使用について

### 警告



禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしてしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コード(特にプラグ部分)、ACアダプタ(特にプラグやジャック部分)の清掃には洗剤を使用しないでください。



注意

- 必ず専用ACアダプタをお使いください。専用品以外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、購入先またはカシオテクノ・PAリペアーセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

### 注意



禁止

- 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります(必ずプラグを持って抜いてください)。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ACアダプタについて

### ⚠ 注意



- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。



- 感電に、注意してください。



プラグを抜く

- ACアダプタは年に1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部を清掃してください。  
ACアダプタにほこりがたまると、湯気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。

## 重要なデータは控えをとっておいてください

### ⚠ 注意



注意

- 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

# ■ 使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

## ● 電池が消耗した状態で使い続けしないでください。

データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。

## ● 消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。

電池が液漏れすることがあります。液漏れは本機の故障、破損の原因になることがあります。

## ● 各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。

範囲外で使用すると故障の原因となります。

## ● 次のような場所での使用は避けてください。

本機の故障、破損の原因になります。

- ・ 静電気が発生しやすいところ
- ・ 極端に高温または低温のところ
- ・ 湿度の高いところ
- ・ 急激な温度変化が起こるところ
- ・ ほこりの多いところ

## ● タッチスクリーンやリセットボタンは、必ず専用のスタイラス(ペン)で操作してください。

スタイラス(ペン)以外で操作した場合は、タッチスクリーンがキズついたり、動作上の障害が発生することがあります。

## ● 本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。

本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。

## ● DT-5300はJIS防沫型に準拠しておりますが、次の点に十分ご注意ください。

- ・ 多量の雨や水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- ・ 雨中で長時間使用しないでください。
- ・ 電池フタやコネクタカバーを確実に閉めてご使用ください。
- ・ 雨中でタッチスクリーンやキーを強く押さないでください。

## ● 液晶パネルについて

液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。

点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

## ● 無線LANについて

IEEE802.11aのW52、W53は電波法により屋外での使用が禁じられています。

# はじめに

- 本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別資料をご覧ください。

## 保証およびサービスについて

- 保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間(購入日)」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの購入先に申し出て記入してください。
- 万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの購入先までご連絡ください。
- 安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

この装置は、高周波利用設備の誘導式読み書き通信設備です。総務省の型式指定を受けています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

### ●本製品の使用済後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。

お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

### ●本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力ください。

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収については、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

安全上のご注意 .....	3
使用上のご注意 .....	12
はじめに .....	13
付属品の確認 .....	16
本機のシステム体系図 .....	17
各部の名称とはたらき .....	20
充電電池パックの取り付け／取り外し .....	23
取り付け .....	24
取り外し .....	25
充電のしかた .....	26
I/Oボックス、置くだけ充電器 .....	26
車載充電器 .....	26
デュアル充電器 .....	27
ACアダプタ .....	27
ハンドベルトの取り扱い .....	28
ハンドベルトの取り外しかた .....	28
ハンドベルトの取り付けかた .....	28
スタイラス紛失防止ひもの取り扱い .....	29
ネックストラップの取り付けかた .....	31
本機の設定について .....	32
タッチスクリーンの位置補正をする .....	32
画面の明るさを調節する .....	33
画面の明るさを自動減光する .....	33
レーザースキャナの取り扱い	
(レーザモデルのみ) .....	34
バーコードをスキャンする位置 .....	35
レーザ発光幅調整法について .....	36
イメージャの取り扱い	
(イメージャモデルのみ) .....	38
microSDカードの取り扱い .....	39
取り付け .....	39
取り外し .....	40
SIMカードの取り扱い .....	41
取り付け .....	41
取り外し .....	42
SDメモ리카ードの取り扱い .....	43
SDメモ리카ードの装着 .....	43
SDメモ리카ードを取り外すときは .....	43

<b>NFCリーダーの取り扱い</b> .....	<b>44</b>
<b>データ通信について</b> .....	<b>45</b>
赤外線通信 .....	45
Bluetooth®通信 .....	46
W-CDMA通信 .....	47
GPS .....	47
<b>リセットのしかた</b> .....	<b>48</b>
フルリセット(ハンディターミナルの初期化)について .....	48
<b>警告ラベルについて</b> .....	<b>50</b>
<b>DT-5300の仕様</b> .....	<b>51</b>
<b>I/Oボックス(HA-H60IO)の取り扱い</b> .....	<b>57</b>
各部の名称とはたらき .....	57
I/Oボックスの電源の取り付けかたと接続 .....	58
I/Oボックス(HA-H60IO)の仕様 .....	60
<b>LAN I/Oボックス(HA-H62IO)の取り扱い</b> ....	<b>61</b>
各部の名称とはたらき .....	61
LAN I/Oボックスの電源の取り付けかたと接続 .....	63
LAN I/Oボックス(HA-H62IO)の仕様 .....	65
<b>置くだけ充電器(HA-H30CHG)の取り扱い</b> ....	<b>66</b>
各部の名称とはたらき .....	66
置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続 .....	67
置くだけ充電器(HA-H30CHG)の仕様 .....	68
<b>車載充電器(HA-H35CHG)の取り扱い</b> .....	<b>69</b>
各部の名称とはたらき .....	69
車載充電器(HA-H35CHG)の仕様 .....	70
<b>デュアル充電器(HA-D32DCHG)の取り扱い</b> ...	<b>71</b>
各部の名称とはたらき .....	71
充電のしかた .....	72
2台以上の接続 .....	73
デュアル充電器(HA-D32DCHG)の仕様 .....	74
<b>ACアダプタ(AD-S15050B)の取り扱い</b> .....	<b>75</b>
充電仕様 .....	75
<b>充電電池パック(HA-D20BAT/HA-D20BAT-A/ HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A)の取り扱い</b> ...	<b>76</b>
標準充電電池パック (HA-D20BAT/HA-D20BAT-A)の仕様 .....	76
大容量充電電池パック (HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A)の仕様 .....	76

# ■ 付属品の確認

本機をはじめてお使いになる前に、箱の中身を確認してください。

箱を開けたら、まず、次の付属品が全部そろっているか、確認してください。

## ●本体



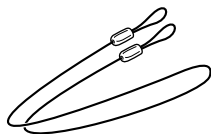
裏面にハンドベルトが取り付けられています。  
マジックテープで長さを調節してください。

## ●スタイラス(ペン)



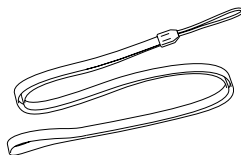
ハンドベルトに取り付けることができます。

## ●スタイラス紛失防止ひも



スタイラスとハンドベルトに取り付けることができます。

## ●ネックストラップ



## ●大容量充電電池パックカバー



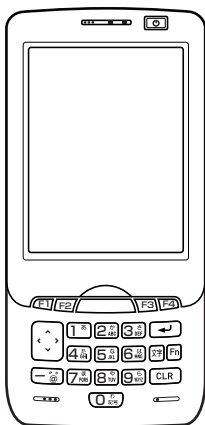
## ●取扱説明書(本書)

## ●保証書



# ■ 本機のシステム体系図

DT-5300シリーズ  
(本体)



## 別売品一覧

I/Oボックス

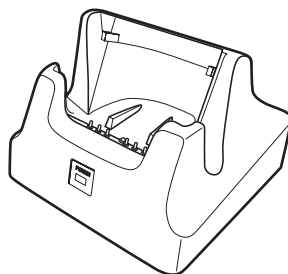
HA-H60IO

LAN I/Oボックス

HA-H62IO

置くだけ充電器

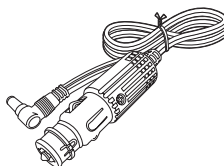
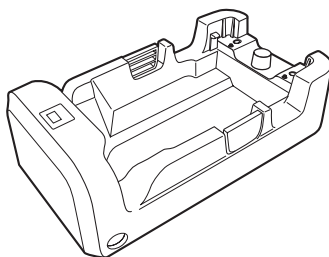
HA-H30CHG



図はI/Oボックス(HA-H60IO)です。

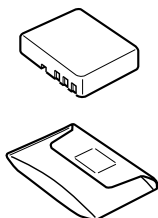
車載充電器

HA-H35CHG

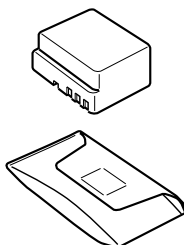


### 充電電池パック

HA-D20BAT/  
HA-D20BAT-A  
(標準充電電池パック)



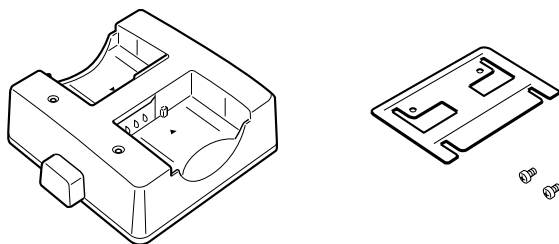
HA-D21LBAT/  
HA-D21LBAT-A  
(大容量充電電池パック)



電話機能搭載モデル\*は必ずHA-D20BAT-AまたはHA-D21LBAT-A  
を使用してください。

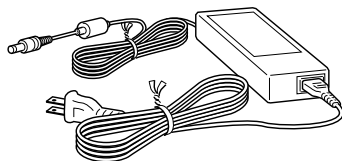
### デュアル充電器

HA-D32DCHG



### デュアル充電器/I/Oボックス用ACアダプタ

AD-S42120B

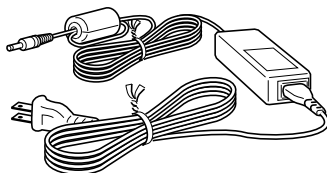


\*電話機能搭載モデル

DT-5300M30SW/M30SWC/M50SW/M50SWC/M52SW/  
M52SWC/M30SG/M30SGC/M50SG/M50SGC/M52SG/  
M52SGC/L30SW/L30SG/L30SWC/L30SGC/L50SW/  
L50SG/L50SWC/L50SGC/L52SW/L52SG/L52SWC/  
L52SGC

本体/置くだけ充電器用ACアダプタ

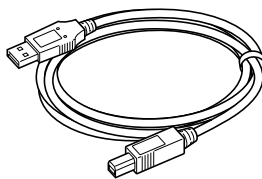
AD-S15050B



ケーブル

DT-380USB

(I/Oボックス-PC接続用ケーブル(USB))

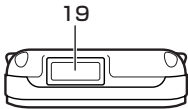


液晶保護シート

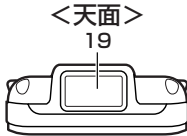
HA-C90PS5B



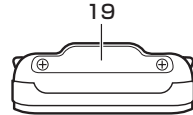
# 各部の名称とはたらき



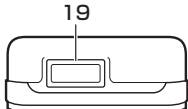
DT-5300\*50S  
DT-5300\*50SC  
DT-5300L50A  
DT-5300L50AC



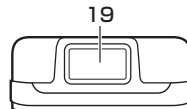
DT-5300\*52S  
DT-5300\*52SC  
DT-5300\*57S  
DT-5300L52A  
DT-5300L57A



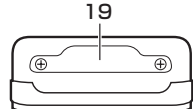
DT-5300\*30S  
DT-5300\*30SC



DT-5300\*50SW  
DT-5300\*50SG  
DT-5300\*50SWC  
DT-5300\*50SGC

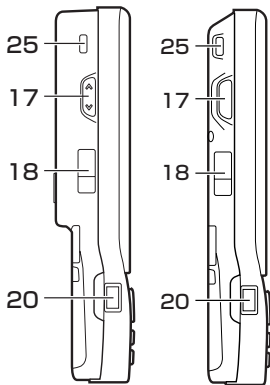


DT-5300\*52SW  
DT-5300\*52SG  
DT-5300\*52SWC  
DT-5300\*52SGC

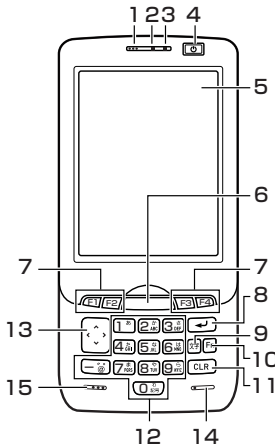


DT-5300\*30SW  
DT-5300\*30SG  
DT-5300\*30SWC  
DT-5300\*30SGC

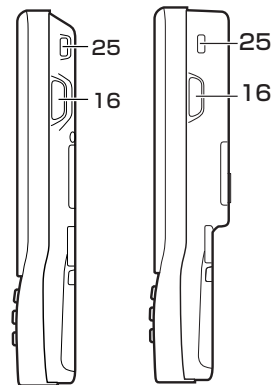
<左側面>



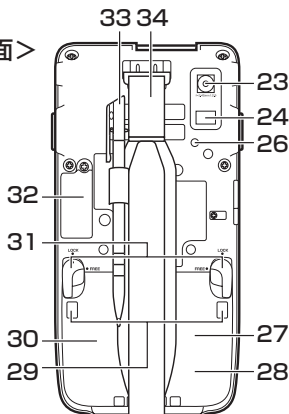
<正面>



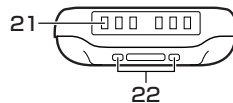
<右側面>



<裏面>



<底面>



1	レシーバー	音声が出力されます。
2	インジケータ1	オレンジ色点灯：充電中 緑色点灯：充電完了 赤色点灯：電池パックの異常または充電可能温度範囲外
3	インジケータ2	Bluetooth使用時は青色に、ワイヤレスLAN、電話使用時はオレンジ色に点滅します。バーコード読み取りエラー時は赤色に、正常に読み取れた時は緑色に点灯します。アラーム機能は赤色に点灯します。
4	電源キー	電源をON/OFFするキーです。
5	画面および NFC読み取り部	文字や操作の指示などが表示されます。また、付属のスタイラスを使って本機の操作やデータ入力を行います。NFC利用時には、カードをかざします。
6	センタートリガーキー センターキー (DT-5300 *30S/ *30SC/ *30SW/ *30SWC/ *30SG/ *30SGC)	バーコードを読み取る操作をするキーです。 任意の機能を設定することも可能です。
7	ファンクションキー	あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
8	エンターキー	数値入力の完了あるいは次のステップへ実行を移すときに押します。
9	文字キー	文字入力モードの切替を行うときに押します。
10	Fnキー	テンキーと組み合わせ、各種の設定をするときに、また、あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
11	CLRキー	入力したキーの内容をすべて取り消すときに押します。
12	テンキー	数値や文字入力するときに押します。
13	カーソルキー	パソコンの上下、左右カーソルキーと同等の動きをします。
14	マイク	音声を入力します。
15	スピーカ	アラーム音など、各種音声が出力されます。
16	Rトリガーキー Rエンターキー (DT-5300 *30S/ *30SC/ *30SW/ *30SWC/ *30SG/ *30SGC)	バーコードを読み取る操作をするキーです。
17	Lトリガーキー 上下キー (DT-5300 *30S/ *30SC/ *30SW/ *30SWC/ *30SG/ *30SGC)	バーコードを読み取る操作をするキーです。
18	DCジャック	ACアダプタを接続します。

\* { M：標準キーモデル  
L：ワイドキーモデル

19	バーコード読み取り口	この窓からレーザー光、LEDが照射され、バーコードを読み取ります。
	SDメモ리카ード スロット (DT-5300 * 30S/ * 30SC / * 30SW/ * 30SWC / * 30SG/ * 30SGC)	SDメモ리카ードのスロットです。
20	赤外線通信ポート	本体間通信などに使います。
21	I/Oボックス端子	通信用と給電用の端子があります。通信用端子はUSB通信に使います。給電用端子は、I/Oボックスや置くだけ充電器からの給電に使います。
22	ストラップホール	ストラップを取り付けます。
23	カメラレンズ	写真を撮影したり画像を取り込むときに使います。
24	LEDライト(フラッシュ)	暗い場所でカメラを使うときに使います。
25	車載充電器取り付け部	別売の車載充電器を固定するときに使います。
26	リセットスイッチ	リセットするときに押します。
27	microSDカード スロット (DT-5300 * 50S/ * 50SC / * 50SW/ * 50SWC / * 50SG/ * 50SGC / * 52S/ * 52SC / * 52SW/ * 52SWC / * 52SG/ * 52SGC / * 57S/ L50A / L50AC / L52A / L57A)	microSDカードのスロットです。(充電電池パックを取り外して装着します)
28	充電電池パックカバー	この中に充電電池パックを装着します。
29	I/Oボックス固定部	別売のI/Oボックスや置くだけ充電器に固定するとき使います。
30	SIMカードスロット (DT-5300 * 30SW/ * 30SWC / * 30SG/ * 30SGC / * 50SW/ * 50SWC / * 50SG/ * 50SGC / * 52SW/ * 52SWC / * 52SG/ * 52SGC)	SIMカードのスロットです。(充電電池パックを取り外して装着します)
31	充電電池パックカバー ロックスイッチ	充電電池パックカバーを開閉するときに回転させます。
32	拡張用ポート**	将来の拡張用に用意されています。
33	スタイラス	スタイラスは本機の手操作やデータ入力をするときに使います。
34	ハンドベルト	ハンドベルトは本体の脱落防止、持ち運び用に使います。

\* { M: 標準キーモデル  
L: ワイドキーモデル

\*\* DT-5300L50A/L50AC/L52A/L57Aは搭載していません。

# ■ 充電電池パックの取り付け／取り外し

本機では2種類の電池を使います。

本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。

メイン電池には、充電電池パックを使います。使用できる充電電池パックは、標準充電電池パック(HA-D20BAT/HA-D20BAT-A)と大容量充電電池パック(HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A)があります。

電話機能搭載モデル(DT-5300M30SW/M30SWC/M50SW/M50SWC/M52SW/M52SWC/M30SG/M30SGC/M50SG/M50SGC/M52SG/M52SGC/L30SW/L30SG/L30SWC/L30SGC/L50SW/L50SG/L50SWC/L50SGC/L52SW/L52SG/L52SWC/L52SGC)は必ずHA-D20BAT-AまたはHA-D21LBAT-Aを使用してください。

バックアップ電池は、本体に内蔵されています。

## 本書では使用する電池を次のように記載しています。

メイン電池： 動作用の充電電池パックのこと

バックアップ電池： 本体に内蔵されたメモリ保護用の電池のこと

充電電池パック： メイン電池として使用する、標準充電電池パック(HA-D20BAT/HA-D20BAT-A)と大容量充電電池パック(HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A)の総称

メイン電池が消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電電池パックに交換してください。充電電池パックは、デュアル充電器、置くだけ充電器、I/Oボックス、LAN I/Oボックス、車載充電器、ACアダプタを使用して充電できます。

充電方法は各機種の取り扱いのページを参照してください。

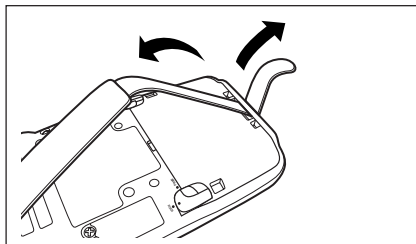
## ■ 使用上のご注意

### ■ 重要なデータは控えをとっておいてください

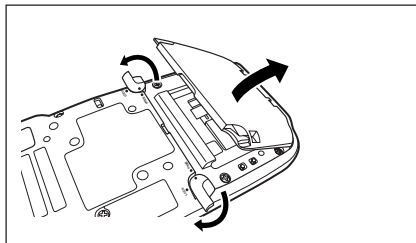
- ・メイン電池は動作およびメモリ保護用の電源、バックアップ電池はメモリ保護用の電源となっていますので、バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずさないでください。バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずすと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。
- ・充電電池パックは自然放電により、電池電圧が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- ・充電電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電電池パックを交換してください。
- ・バックアップ電池が満充電の場合、メイン電池を外しても約10分間メモリ(RAM)のバックアップを行うことができます。
- ・バックアップ電池は、メイン電池がセットされた状態において4日間で満充電の状態になります。

## 取り付け

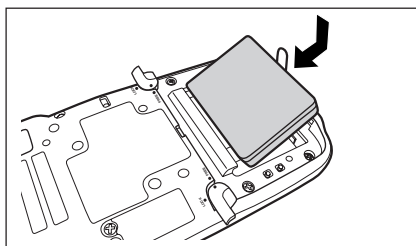
- 1 本機を裏返し、ハンドベルトをゆるめます。



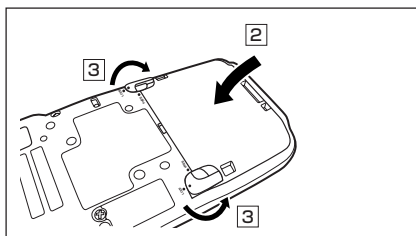
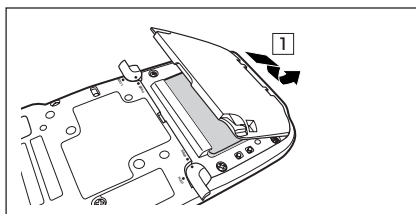
- 2 充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、充電電池パックカバーを取り外します。



- 3 標準充電電池パック(HA-D20BAT/HA-D20BAT-A)または大容量充電電池パック(HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A)を取り付けます。向きを間違えないように注意してください。また、取り出しテープの端が充電電池パックの上に出た状態になるように取り付けてください。



- 4 図のように充電電池パックカバーを元に戻し、充電電池パックカバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください。大容量充電電池パックのときは大容量充電電池パックカバーを取り付けてください。



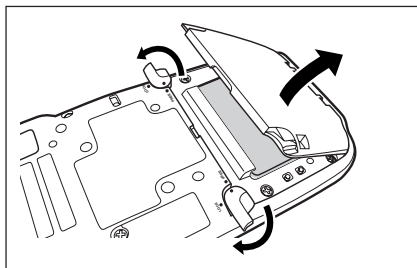


## 取り外し

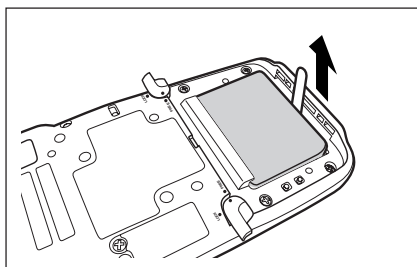
1 電源がOFFになっているのを確認します。  
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

2 本機を裏返し、ハンドベルトをゆるめます。

3 本体裏面の充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、充電電池パックカバーを取り外します。



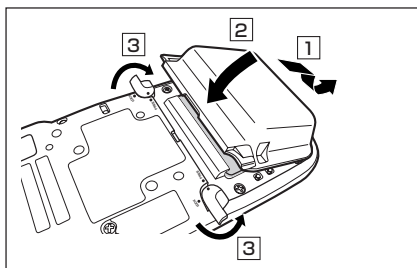
4 図のように充電電池パックを取り出します。



### 大容量充電電池パックを取り付けるときは

大容量充電電池パックを取り付けるときは、専用の大容量充電電池パックカバーを使います。

大容量充電電池パックカバーの取り外し、取り付けについては、標準充電電池パックカバーの取り外し、取り付けと同様です。



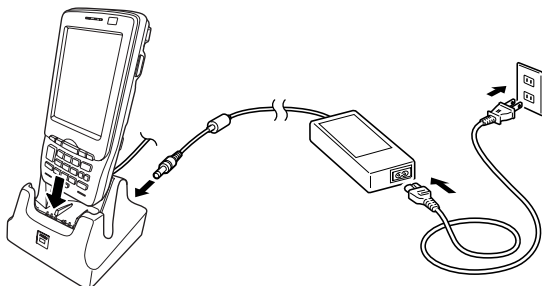
### 使用上のご注意

- ・充電電池パックの交換は10分以内に行ってください。
- ・10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがあります。
- ・指定された電池以外は使用しないでください。
- ・充電電池パックは、取り出しテープを真上に引き上げて取り出してください。無理に取り出すと破損の原因となります。

# ■ 充電のしかた

I/Oボックス、充電器、ACアダプタ(AD-S15050B)を使ってDT-5300に装着した充電地パックを充電することができます。充電状態はDT-5300のインジケータで確認します。デュアル充電器を使って充電地パックを充電することができます。

## I/Oボックス、置くだけ充電器



### DT-5300のインジケータ1の表示

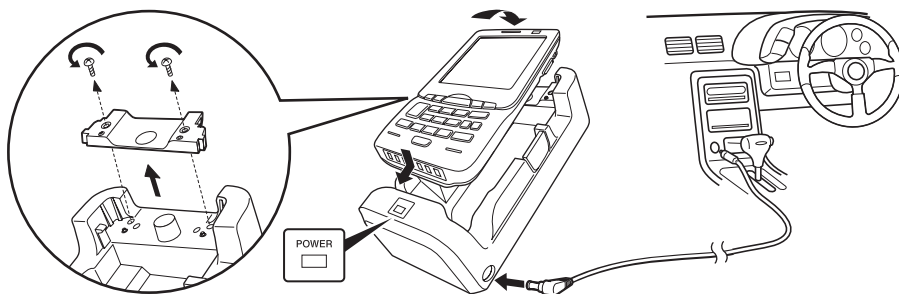
オレンジ色点灯：充電中

赤色点灯： 充電地パックの異常、充電可能温度でないため待機中  
(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

## 車載充電器

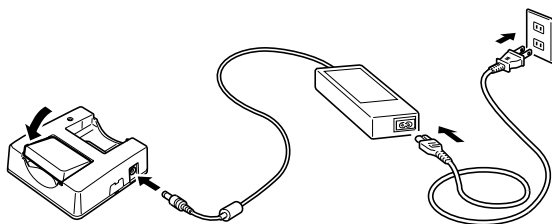
車載充電器に同梱のカープラグコードを車のシガレットライターソケットに差し込みます。電話機能搭載モデルは図のようにプレートを取り外してから設置してください。DT-5300を車載充電器に装着すると車載充電器の電源表示用LEDが緑色に点灯します。



### DT-5300のインジケータ1の表示

\*上記「I/Oボックス、置くだけ充電器」を参照してください。

## デュアル充電器



※3台まで連結することができます。

### 充電表示用LEDの表示

消灯： 充電しないとき

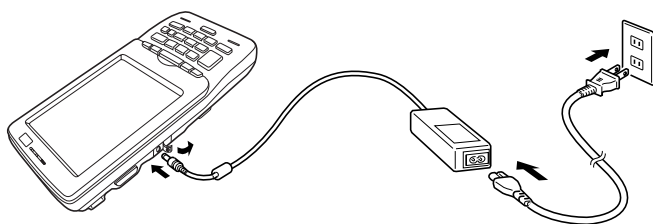
赤色点灯：充電中

赤色点滅：充電電池パックの異常

緑色点灯：充電完了

緑色点滅：充電可能温度(約0～40℃)でないため待機中  
(充電可能温度になると充電開始)

## ACアダプタ



### DT-5300のインジケータ1の表示

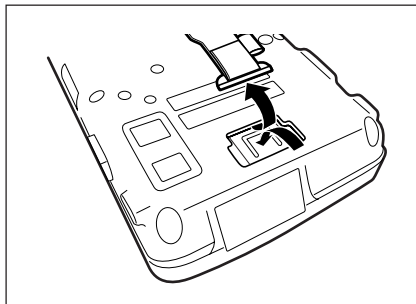
\*前のページの「I/Oボックス、置くだけ充電器」を参照してください。

# ■ ハンドベルトの取り扱い

ハンドベルトは本体に取り付けられています。必要がないときは取り外してください。

## ハンドベルトの取り外しかた

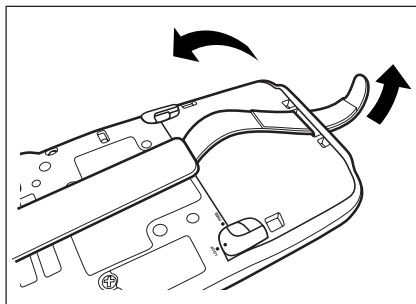
- 1 図のように、本体の突起部分を押しながらハンドベルトの金具を引き抜きます。



- 2 マジックテープをはがして、ハンドベルトを本体下部の穴から引き抜きます。

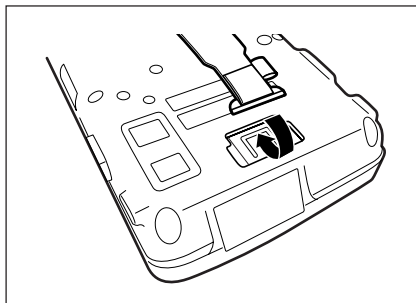
## ハンドベルトの取り付けかた

- 1 ハンドベルトの先端を本体下部の穴に通し、折り返して適切な長さになるようマジックテープで固定します。



- 2 図のように、ハンドベルトの金具を本体の取り付け位置に合わせて押しこみます。

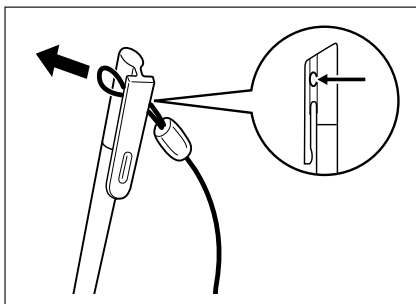
しっかり固定されたことを確認してください。



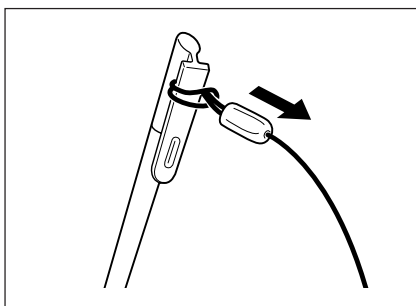
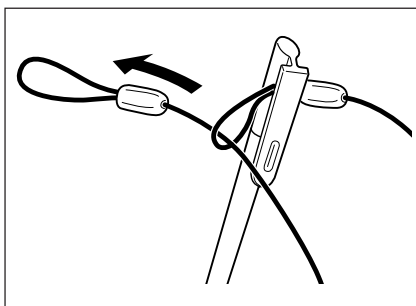
# ■ スタイラス紛失防止ひもの取り扱い

“スタイラス紛失防止ひも”は下記の手順で取り付けてください。

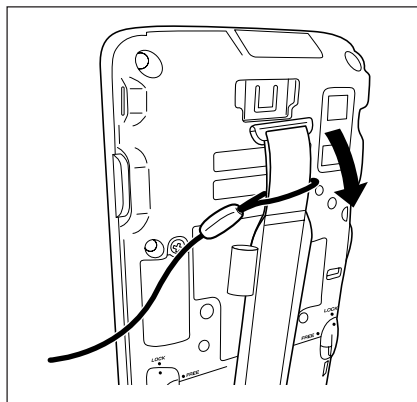
- 1 スタイラス上部の穴にひもを通します。



- 2 反対側のひもを輪に通します。



- 3** ハンドベルトを外した状態でひもの輪をハンドベルトに通します。  
ハンドベルトの外しかたはP.28をご覧ください。  
ひもの輪をハンドベルトに通します。

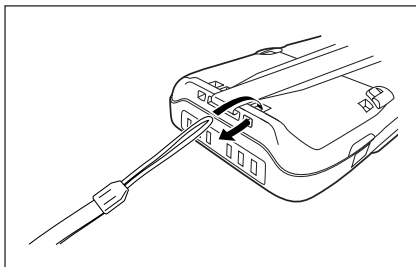


- 4** ハンドベルトをハンディターミナルに取り付けます。  
取り付けかたはP.28をご覧ください。

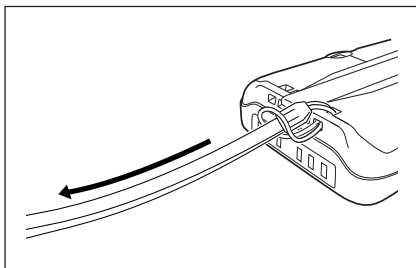
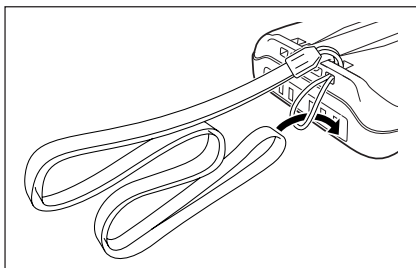
# ■ ネックストラップの取り付けかた

本機は、移動するときに落下防止用として、ネックストラップが使用できます。ストラップホールは2ヶ所ありますので使い勝手の良い方を使用してください。ネックストラップは次の手順で取り付けてください。

- 1 本体裏面のネックストラップ取り付け部にネックストラップの細いひもの輪の部分を通します。



- 2 反対側のひも(首にかける部分)を細いひもの輪に通します。



## 使用上のご注意

ネックストラップを持って、本体をふりまわさないでください。

# ■ 本機の設定について

## タッチスクリーンの位置補正をする

タッチスクリーンの反応が悪かったり、タッチスクリーン上でタッチした位置と、動作との間にずれがある場合は、以下の方法でタッチスクリーンの再補正をしてください。

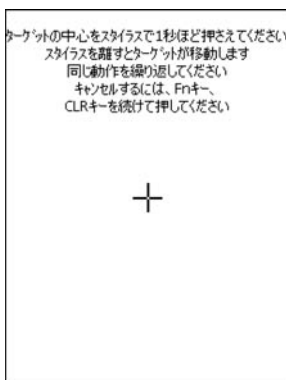
- “Fn” キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから“4”キーを押します。次の画面が表示されます。

※ コントロールパネルから表示させることもできます。

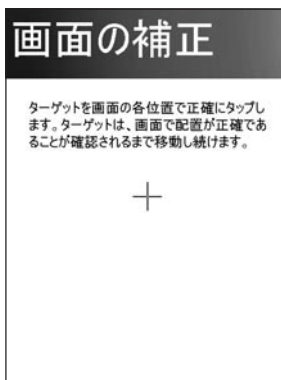
Windows CEモデル：[スタート]→[設定]→[スタイラス]→[タッチスクリーンの補正]→[再補正]

Windows モバイルモデル：[スタート]→[設定]→[システム]→[画面]→[画面の補正]

Windows CEモデル



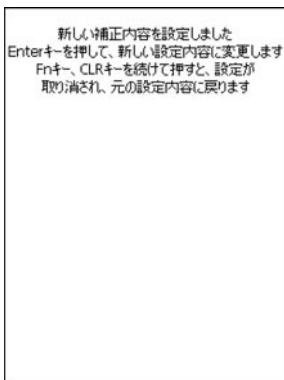
Windows モバイルモデル



- 画面の指示に従って、ターゲット(+マーク)の中心をスタイラスで押さえます。

Windows CEモデル：

画面上のターゲットを5回押さえると、次の画面が表示されます。エンターキーを押すか、画面の任意の位置をタップします。



Windows モバイルモデル：

正しく補正されると、ひとつ前の画面に戻ります。

正しく補正されないと[画面の補正]が表示されますので、補正をやり直してください。



## 画面の明るさを調節する

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調整することができます。

- “Fn”キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから、“5”または“6”キーを押します。“5”キーを押すと暗く、“6”キーを押すと明るくなります。

※続けて調整するときは、あらためて“Fn”キーを押してから“5”または“6”キーを押してください。

※コントロールパネルから設定することもできます。

Windows CEモデル：[明るさ]をダブルタップ

Windows Mobile：[バックライト]をタップ

## 画面の明るさを自動減光する

充電電池パックを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると、画面の明るさを自動的に減光します。

以下の方法で減光するまでの時間を設定してください。

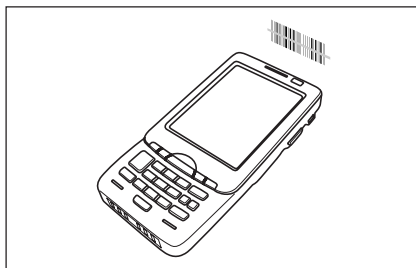
Windows CE：[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[明るさ]→[バックライト]

Windows Mobile：[スタート]→[設定]→[システム]→[バックライト]

# ■ レーザースキャナの取り扱い(レーザーモデルのみ)

1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。

2 レーザーが発光し、バーコードが読み取れます。  
読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。



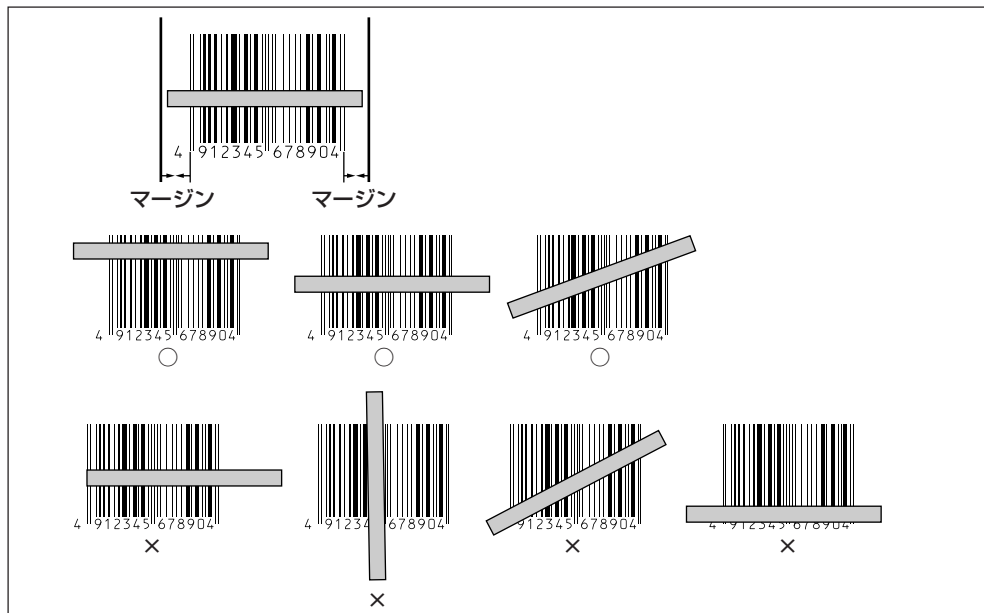
## 使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は40mm～400mmの距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

## バーコードをスキャンする位置

小さいバーコードは、レーザースキャナを近づけてお使いください。

大きいバーコードは、光にバーが入るように離してお使いください。



### 警告

■ レーザ光をのぞき込まないでください。



・ 本機は、レーザ光でスキャンします。

レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

# レーザー発光幅調整法について

本機はレーザーの発光幅を切り替えることができます。レーザーの発光幅にずれがある場合は、次の方法で調整してください。

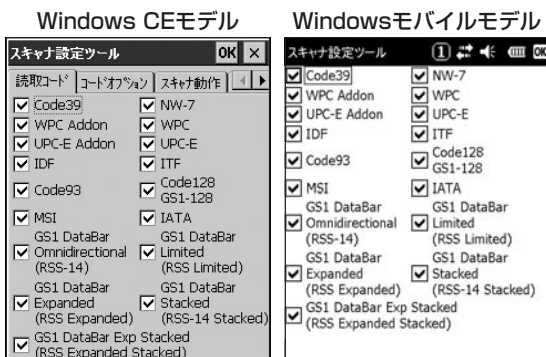
1 Windows CEモデル：  
[スタート]ボタンをタップし、[設定]→[コントロールパネル]の順にタップします。

Windowsモバイルモデル：  
[スタート]→[設定]→[システム]の順にタップします。

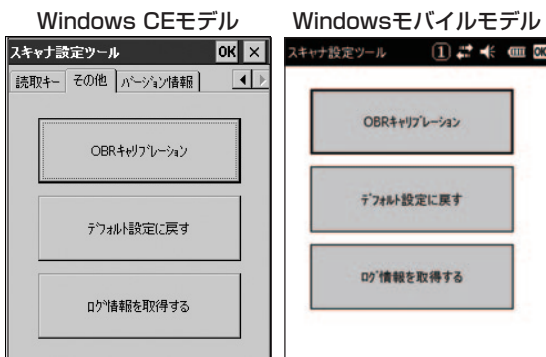
「コントロールパネル」が表示されます。



2 [スキャナ設定]アイコンをダブルクリック(Windowsモバイルモデルはタップ)します。  
「スキャナ設定ツール」が表示されます。

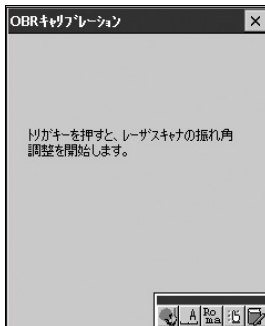


3 [その他]タブをタップします。

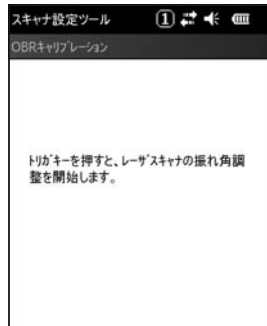


- 4 [OBRキャリブレーション]ボタン  
をタップします。  
右のように表示されます。

Windows CEモデル



Windowsモバイルモデル



- 5 トリガーキーを押してレーザーを  
発光させ、発光幅調整用バーコード  
に光を合わせます。

- ・レーザー光を両サイドにある細いバーに合わせてください。
- ・調整が完了すると右のように表示されます。
- ・「設定が失敗しました」と表示されたときは、設定をやり直してください。

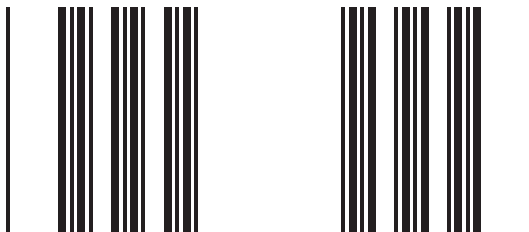
Windows CEモデル



Windowsモバイルモデル



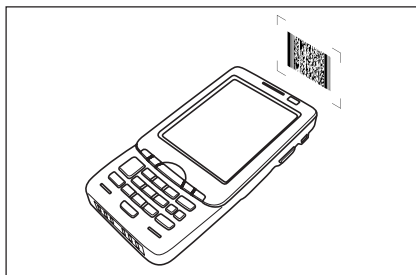
## ■発光幅調整用バーコード



# ■ イメージャの取り扱い(イメージャモデルのみ)

1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。

2 LEDが発光し、バーコードが読み取れます。  
読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。



## 使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は45mm～410mmの距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

# microSDカードの取り扱い

本機はmicroSDカードに対応しています。

本機能の有無はモデルにより異なります。対応モデルについてはP.21～22を参照してください。

microSDカードスロットは充電電池パック格納部の奥にありますので、取り付け・取り外しの際は、充電電池パックを取り出してから行ってください。

充電電池パックの取り付け・取り外しはP.23～25を参照してください。

microSDカードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

## 取り付け

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。

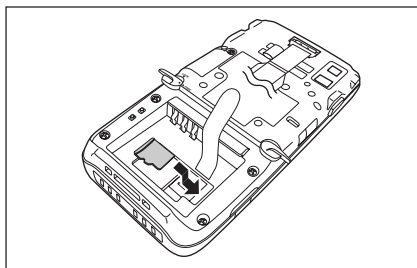
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。

- 2 充電電池パックを取り出します。

- 3 microSDカードの表側(文字面)を上にしてスロットに正しく合わせて、差し込みます。

- 突起部分が持ち上がってロックされる位置まで確実に差し込んでください。
- カードを斜めに挿さないでください。

- 4 充電電池パックを取り付けます。



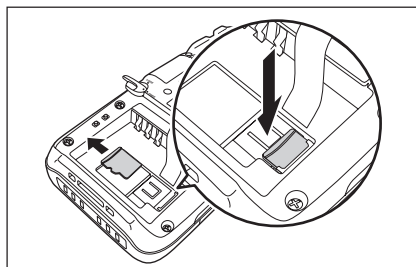
## 取り外し

1 電源がOFFになっていることを確認します。

電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。

2 充電電池パックを取り出します。

3 図のように突起部分を指先で押し下げながらカードを引き抜きます。



4 充電電池パックを取り付けます。

### 使用上のご注意

- ・カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。
- ・microSDカードが正しく装着されないと充電パックが正しく装着できません。そのときは、microSDカードを正しく装着し直してください。
- ・10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがありますのでmicroSDカードの装着(交換)は10分以内に行ってください。
- ・カードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりカードを取り出したりしないでください。カードや記憶データを破損するおそれがあります。
- ・カードを落として破損したり紛失したりしないようご注意ください。



# SIMカードの取り扱い

本機はSIMカードに対応しています。

本機能の有無はモデルにより異なります。対応モデルについてはP.21～22を参照してください。

SIMカードスロットは充電電池パック格納部の奥にありますので、取り付け・取り外しの際は、充電電池パックを取り出してから行ってください。

充電電池パックの取り付け・取り外しはP.23～25を参照してください。

SIMカードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

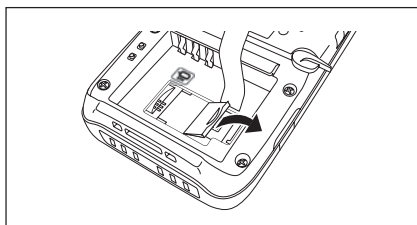
## 取り付け

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。

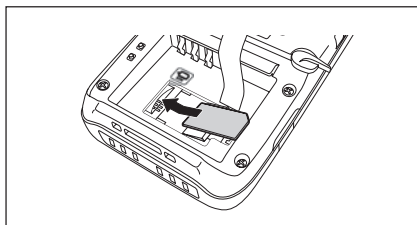
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。

- 2 充電電池パックを取り出します。

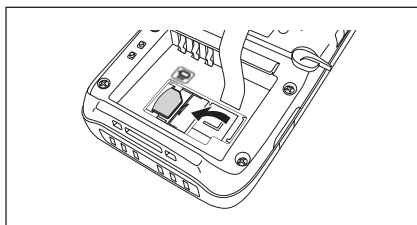
- 3 図のようにプラスチックホルダーを上引き開きます。



- 4 図のようにSIMカードをスライドして挿入します。



- 5 図のようにプラスチックホルダーを閉じます。



- 6 充電電池パックを取り付けます。

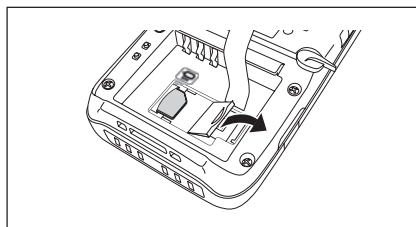
## 取り外し

1 電源がOFFになっていることを確認します。

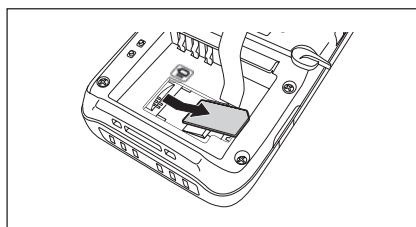
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。

2 充電電池パックを取り出します。

3 図のようにプラスチックホルダーを上引き開きます。



4 図のようにSIMカードをスライドして抜きます。



5 プラスティックホルダーを閉じます。

6 充電電池パックを取り付けます。

### 使用上のご注意

- SIMカードを装着する際は、正しい挿入方向をご確認の上正しく装着してください。無理に取り付けようとしたり、無理に取り外そうとすると、カードが壊れることがありますのでご注意ください。
- カードを取り付けるときにIC部分に触れると、汚れたり静電気などで破損の原因となる場合があります。
- 10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがありますので、SIMカードの装着(交換)は10分以内に行ってください。
- SIMカードが正しく装着されないと充電パックが正しく装着できません。そのときは、SIMカードを正しく装着し直してください。

# SDメモリーカードの取り扱い

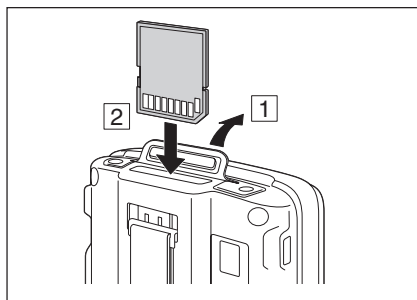
本機はSDメモリーカードに対応しています。

本機能の有無はモデルにより異なります。対応モデルについてはP.21～22を参照してください。

SDメモリーカードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

## SDメモリーカードの装着

- 1 SDメモリーカードスロットのフタを開け(1)、SDメモリーカードの表側がハンディターミナルの表側を向くように奥に突き当たるまで差し込みます(2)。



- 2 SDメモリーカードスロットのフタを閉じます。

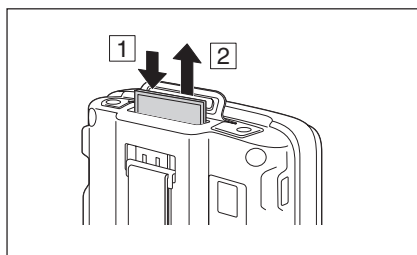
## 使用上のご注意

- カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。
- SDメモリーカードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりSDメモリーカードを取り出したりしないでください。SDメモリーカードや記憶データが破損するおそれがあります。

## SDメモリーカードを取り外すときは

- 1 SDメモリーカードスロットのフタを開け、SDメモリーカードを押し込みます(1)。

SDメモリーカードが押し出されます(2)。

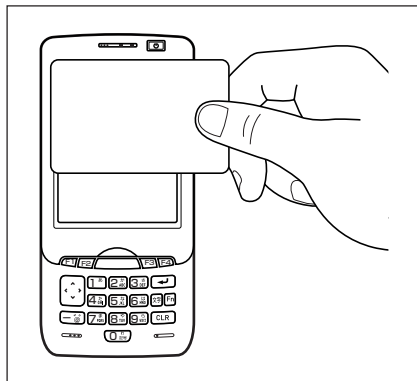


- 2 SDメモリーカードを引き抜き、SDメモリーカードスロットのフタを閉じます。

# NFCリーダーの取り扱い

NFCとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。社員証など対応する非接触ICカードを読み取ることができます。

- 1 ハンディターミナルの画面にカードを平行になるようにかざします。



## 使用上のご注意

- 読み取れない場合は、カードを前後左右にずらしてかざしてください。
- かざす際に画面にカードを強くぶつけないようにご注意ください。
- 複数のカードを重ねて読ませないでください。  
正確に読み取らない場合があります。
- 液晶画面の周辺に金属があると読み取りにくくなります。  
お財布などにカードを入れている場合は、取り出して読ませてください。
- カードは液晶画面と水平になるように接触して読ませてください。
- ハンディターミナルのNFCリーダー機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

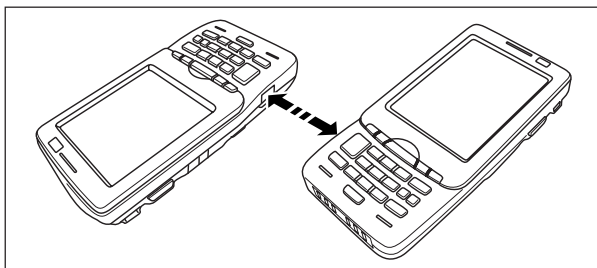
# ■ データ通信について

## 赤外線通信

赤外線通信は本体間の通信などでお使いになれます。

通信を行うときには、本機の赤外線通信ポートと他の機器の赤外線通信ポートが真っすぐに向き合うようにしてください。

0 (接触)～20cm以内で通信できます。



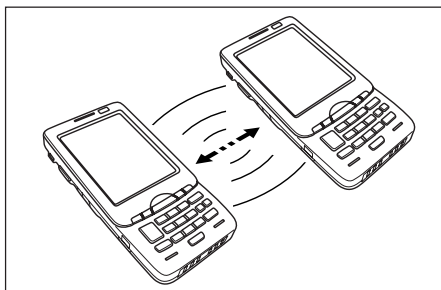
### 使用上のご注意

- 本機の赤外線通信では、高感度の通信素子を使用しております。  
通信を良好に行うために、通信中に本機の近くで電波を発生させる機器(例えば、携帯電話等)のご使用は避けてください。  
これらの機器をご使用になる場合は本機から距離を離して(携帯電話の場合は30cm以上離して)で使用ください。

## Bluetooth®通信

Bluetooth®通信は本体間の通信などでお使いになれます。

相手の機器と3m以内の距離(障害物のない状態)で通信することができます。



### 使用上のご注意

良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth®機器とは、見通し距離約3m以内で通信してください。周囲の環境(障害物)によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器(電気製品/AV機器/OA機器/デジタルコードレス電話機/ファックスなど)から2m以上離れて通信してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について

Bluetooth®通信とワイヤレスLANは同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
- 10m以内で使用する場合は、本機またはワイヤレスLANを搭載した機器の一方の電源を切ってください。
- Bluetooth® Ver.2.0を搭載することにより、本機の無線LANとBluetooth®通信を同時使用することが可能となりますが、周囲の電波環境により通信できない場合があります。

## W-CDMA通信

本機に搭載のW-CDMA通信機能を使用するには、通信事業者と契約する必要があります。使用可能なW-CDMA通信機能はお客様が接続する通信事業者との契約によって決まります。ネットワークサービスの詳細は通信事業者にご相談ください。

お客様がW-CDMA通信とWLAN通信を同時に使用すると、WLAN通信速度が遅くなったり信号が遮断されることがあります。これはW-CDMA通信状態の影響によるものです。

## GPS

お客様が本端末を初めて使う時あるいは長期間未使用後に使う時、位置確認に時間がかかる場合があります。このような場合は、周囲に通信障害となるものがないことを確認し、電源をONにした後15分以上待つてGPS操作を開始してください。

本端末に搭載のGPSモジュールは米国政府管轄下の衛星から発信される信号を利用しています。そのため位置情報の精度はこれら衛星の動作状態の影響を受けます。

GPSモジュールは衛星から発信される信号を受信しますので、建物内部やトンネル内では受信できない場合があります。本端末を車内に設置し使用する際は、使用前に受信感度が最適な位置を探してください。

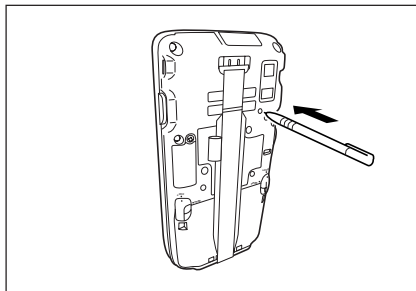
# ■ リセットのしかた

「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中等で、まだ保存していなかったRAMデータは消去されますが、フラッシュROM上に保存されているデータや各種設定などは基本的にそのまま残ります。

誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機背面のリセットスイッチをスタイラスで押します。

リセット処理が開始されます。



## フルリセット(ハンディターミナルの初期化)について

フルリセットを実行すると、すべてのデータが消去され、各種の設定がすべて初期状態に戻ります。

\*Flashdiskフォルダに保存されているデータは消えません。

フルリセットは、次のような場合に実行します。

- ・インストールしたプログラムや設定を消去して、本機を初期状態に戻りたい場合
- ・パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- ・メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合

## フルリセットの実行のしかた

### 使用上のご注意

- ・フルリセットを行うと、Flashdiskフォルダに保存しているデータを除いてすべてのデータが初期化されてしまいます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはFlashdiskフォルダなどへバックアップを行っておいてください。

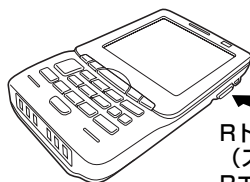


- 1 FnキーとCLRキーを押しながらリセットボタンをスタイラスで約3秒間押すと、以下のメッセージが表示されます。

#### スキャナありモデル

##### リセット警告

フラッシュディスクの初期化を行います。  
「Rトリガーキー」を押すと実行します。  
(解除する場合は、「Lトリガーキー」を  
押してください。)



Rトリガーキー  
(スキャナありモデル)  
Rエンターキー  
(スキャナなしモデル)

- 実行を解除する場合は、Lトリガーキーを押します。

#### スキャナなしモデル

##### リセット警告

フラッシュディスクの初期化を行います。  
右側面の「R-エンターキー」を押すと  
実行します。  
(解除する場合は、左側面の  
「上キー」を押してください。)

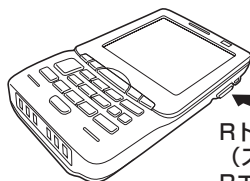
- 実行を解除する場合は、上キーを押します。

- 2 Rトリガーキーを押すと、以下のメッセージが表示されます。

#### スキャナありモデル

##### リセット警告

フラッシュディスクに保存されている全ての  
データは消去されます。  
「Rトリガーキー」を押すと実行します。  
(解除する場合は、「Lトリガーキー」を  
押してください。)



Rトリガーキー  
(スキャナありモデル)  
Rエンターキー  
(スキャナなしモデル)

- 実行を解除する場合は、Lトリガーキーを押します。

#### スキャナなしモデル

##### リセット警告

フラッシュディスクに保存されている全ての  
データは消去されます。  
右側面の「R-エンターキー」を押すと  
実行します。  
(解除する場合は、左側面の  
「上キー」を押してください。)

- 実行を解除する場合は、上キーを押します。

- 3 再度Rトリガーキーを押します。

- フルリセットが実行され、すべてのメモリ上のデータが消去され、起動画面が表示されます。

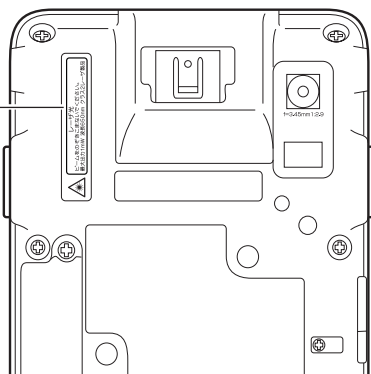
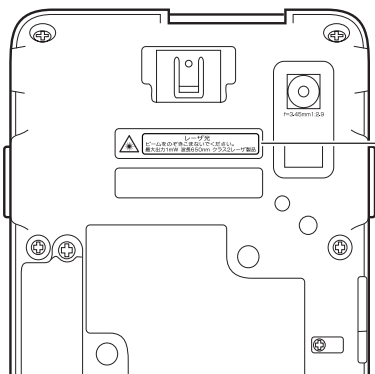
\*Flashdiskフォルダに保存されているデータは消えません。

# 警告ラベルについて



DT-5300M50S/M50SC/M50SW/  
M50SWC/M50SG/M50SGC/  
M52SW/M52SWC/M52SG/  
M52SGC/L50S/L50A/L50SC/  
L50AC/L50SW/L50SG/L50SWC/  
L50SGC/L50AC/L52SW/L52SG/  
L52SWC/L52SGC

DT-5300M52S/M52SC/L52S/  
L52A/L52SC/L57S/L57A



- このラベルはJIS C 6802に準じた、クラス2レーザー製品の警告ラベルです。
- クラス2レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー光は最大出力1mW未満、波長650nmです。

# DT-5300の仕様

- 型式 :** DT-5300M50S/L50S、DT-5300M52S/L52S、  
DT-5300M57S/L57S、DT-5300M50SC/L50SC、  
DT-5300M52SC/L52SC、DT-5300M30S/L30S、  
DT-5300M30SC/L30SC、DT-5300M30SW/L30SW、  
DT-5300M30SWC/L30SWC、DT-5300M50SW/L50SW、  
DT-5300M50SWC/L50SWC、DT-5300M52SW/L52SW、  
DT-5300M52SWC/L52SWC、DT-5300M30SG/L30SG、  
DT-5300M30SGC/L30SGC、DT-5300M50SG/L50SG、  
DT-5300M50SGC/L50SGC、DT-5300M52SG/L52SG、  
DT-5300M52SGC/L52SGC、DT-5300L50A、  
DT-5300L50AC、DT-5300L52A、DT-5300L57A
- CPU :** Marvel® PXA320
- OS :** Microsoft® Windows® CE 6.0R2  
DT-5300M50S/M50SC/M52S/M57S/M52SC/L50S/L50A/  
L50SC/L50AC/L52S/L57S/L52A/L57A/L52SC  
Microsoft® Windows® Mobile 6.5  
DT-5300M30S/M30SC/M30SW/M30SWC/M50SW/  
M50SWC/M52SW/M52SWC/M30SG/M30SGC/M50SG/  
M50SGC/M52SG/M52SGC/L30S/L30SC/L30SW/L30SG/  
L30SWC/L30SGC/L50SW/L50SG/L50SWC/L50SGC/  
L52SW/L52SG/L52SWC/L52SGC
- メモリ :** Windows CE : RAM 128MB、フラッシュROM256MB(ユーザー領  
域 : 約190MB)  
Windows Mobile : RAM 128MB、フラッシュROM256MB(ユーザー  
領域 : 約150MB)
- 表示 :** 3.7inch、480×640ドット、カラー透過型TFT液晶
- レーザースキャナ部(DT-5300M50S/M50SC/M50SW/M50SWC/M50SG/  
M50SGC/L50S/L50A/L50SC/L50AC/L50SW/L50SG/  
L50SWC/L50SGC) :**  
読み取りコード :  
UPC-A、UPC-E、EAN8 (JAN8)、EAN13 (JAN13)、Codabar  
(NW-7)、Code39、Interleaved 2 of 5 (ITF)、MSI、Industrial 2 of  
5、Code93、Code128 (GS1-128 (EAN128))、IATA、GS1  
DataBar Omnidirectional (RSS-14)、GS1 DataBar Limited (RSS  
Limited)、GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)/GS1  
DataBar Stacked (RSS-14 Stacked)、GS1 DataBar Expanded  
Stacked (RSS Expanded Stacked)  
読み取り距離 : 約40mm~400mm

**CMOSイメージャ部(DT-5300M52S/M57S/M52SC/M52SW/M52SWC/  
M52SG/M52SGC/L52S/L57S/L52A/L57A/L52SC/L52SW/  
L52SG/L52SWC/L52SGC) :**

読み取りコード :

1D : UPC-A、UPC-E、EAN8 (JAN8)、EAN13 (JAN13)、Codabar (NW-7)、Code39、Interleaved 2 of 5 (ITF)、MSI、Code93、Code128 (GS1-128 (EAN128))、Code11、IATA、GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14)、GS1 DataBar Truncated (RSS-14 Truncated)、GS1 DataBar Limited (RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)、Code32

Stacked 2D : PDF417、Micro PDF、CODE49、Composite、Codablock F、TLC39、GS1 DataBar Expanded Stacked (RSS Expanded Stacked)、GS1 DataBar Stacked (RSS-14 Stacked)  
Matrix 2D : Aztec、DataMatrix、Maxicode、QR Code、MicroQR、Chinese Sensible Code (Han Xin Code) (Windowsモバイルモデルのみ)

読み取り距離 :

1D : 約45mm~410mm

Stacked 2D : 約65mm~260mm

Matrix 2D : 約55mm~195mm

**赤外線通信ポート :**

インターフェース : IrDA Ver.1.3準拠

同期方式 : 調歩同期、フレーム同期

伝送速度 : 4Mbpsまで (MAX)

**Bluetooth®通信 :**

通信方式 : Bluetooth®Specification Ver.2.0(Class2)

通信距離 : 約3m (電波の状態や環境により変化します)

出力 : 最大4dBm

<b>無線LAN通信：</b>	標準規格：	IEEE 802.11a準拠：DT-5300L50A/L50AC/L52A/L57A
		IEEE 802.11b準拠：全モデル
		IEEE 802.11g準拠：全モデル
	拡散変調方式：	IEEE 802.11a/g：OFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing)直交周波数分割多重方式
		IEEE 802.11b：DSSS (Direct Sequence Spread Spectrum)直接拡散方式
	無線周波数：	中心周波数：
		IEEE 802.11a：
		W52：36/40/44/48ch(5.18~5.24GHz)
		W53：52/56/60/64ch(5.26~5.32GHz)
		W56：100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch(5.50~5.70GHz)
		IEEE 802.11b：1~14ch(2.412~2.484GHz)
		IEEE 802.11g：1~13ch(2.412~2.472GHz)
		周波数範囲：
		IEEE 802.11a：
		5.15~5.35GHz(W52、W53)
		5.47~5.725GHz(W56)
		IEEE 802.11b：2.400~2.497GHz
		IEEE 802.11g：2.400~2.4835GHz
	伝送速度：	IEEE 802.11a/g：54Mbpsまで
		IEEE 802.11b：11Mbpsまで
伝送距離：	IEEE 802.11a：屋内30m、屋外150m	
	IEEE 802.11b/g：屋内50m、屋外150m (伝送距離は使用環境によって異なります)	
チャンネル数：	IEEE 802.11a：	
	W52：4	
	W53：4	
	W56：11	
	IEEE 802.11b：14	
	IEEE 802.11g：13	
出力：	IEEE 802.11a：最小12.0dBm、最大17.0dBm	
	IEEE 802.11b：最小12.0dBm、最大16.0dBm	
	IEEE 802.11g：最小11.0dBm、最大17.0dBm	
その他機能：	複数のアクセスポイント間でのローミング機能	
<b>NFC：</b>	キャリア周波数：13.56MHz±7kHz	
	アンテナ：磁界型ループアンテナ	
	動作磁界：出力磁界強度 1.5A/m以上	
	ビットレート：106kbps、212kbps、424kbps	
	変調方式：ASK	
	変調度：10%変調、100%変調	
	読み取り距離：ケースに接触	
	読み取り範囲：液晶画面の中心から30mm×60mm(カード種に依存)	
	対応カード：ISO14443TypeA、ISO14443TypeB、FeliCa (一部読めないカードがあります)	

<b>microSDメモリーカードスロット</b>	:	SDHCメモリーカード対応	
<b>SD I/O カードスロット</b>	:	SDHCメモリーカード対応	
<b>W-CDMA</b>	:	標準規格 :	UMTS/W-CDMA : 3GPP release99
			HSDPA : 3GPP release5
		通信機能 :	音声、パケットデータ
		データ転送 :	パケット : 64Kbps、128Kbps、384Kbps Category12 (1.8Mbps) Category6 (3.6Mbps) Category8 (7.2Mbps)
		変調方式 :	W-CDMA : BPSK/HPSK/QPSK HSDPA : QPSK/16QAM(Category6/Category8)
		無線周波数 :	Band I UMTS2000 : Uplink : 1920~1980MHz Downlink : 2110~2170MHz Band II UMTS900 : Uplink : 1850~1910MHz Downlink : 1930~1990MHz BandV UMTS850 : Uplink : 824~849MHz Downlink : 869~894MHz BandVI : Uplink : 830~840MHz Downlink : 875~885MHz
		チャンネル数 :	Band I : 299 Band II : 299 BandV : 124 BandVI : 49
		チャンネル間隔 :	200KHz
		チャンネル帯域幅 :	5MHz
		出力 :	Band I UMTS2000 : 23dBm Band II UMTS900 : 23dBm BandV UMTS850 : 23dBm BandVI : 23dBm
<b>GPS</b>	:	一般仕様 :	12チャンネル・レシーバ、L1 1575.42 MHz、C/Aコード
		測位方式 :	Standalone-GPS(S-GPS) Assisted-GPS(A-GPS)
		プロトコル :	NMEA-0183
		感度 :	捕捉(獲得)感度 : -145dBm トラッキング感度 : -158dBm
<b>SIM</b>	:	規格 :	ISO 7816 IC Card standard
		一般仕様 :	3V、1.8V SIMカードのサポート



- 動作温度：** -20～50℃  
**動作湿度：** 10～90%RH(結露なきこと)  
**落下強度：** 1.5m\*\*\*\*  
**防水防塵性能：** JIS C 0920防沫形準拠、IEC60529 IP54準拠  
※コネクタなどのカバーはすべて閉めた状態
- 大きさ：** 約幅78×奥行159×高さ25mm(突起部は含まず)  
**質量：** 約265g(DT-5300M50S/L50A/L50S)(標準充電電池パックを装着時)  
約270g(DT-5300M50SC/M30S/L50SC/L50AC/L30S)(標準充電電池パックを装着時)  
約275g(DT-5300M52S/M57S/M30SC/L52S/L57S/L52A/L57A/L30SC)(標準充電電池パックを装着時)  
約280g(DT-5300M52SC/L52SC)(標準充電電池パックを装着時)  
約330g(DT-5300M30SW/M50SW/M52SW/M30SG/M50SG/M52SG/L30SW/L50SW/L52SW/L30SG/L50SG/L52SG)(標準充電電池パックを装着時)  
約335g(DT-5300M30SWC/M50SWC/M52SWC/M30SGC/M50SGC/M52SGC/L30SWC/L50SWC/L52SWC/L30SGC/L50SGC/L52SGC)(標準充電電池パックを装着時)
- バイブレータ機能：** ソフトウェアの設定により使用可

\*\*\*\*試験値であり、保証値ではありません。

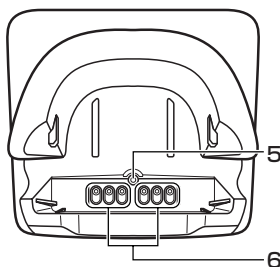


# I/Oボックス(HA-H60IO)の取り扱い

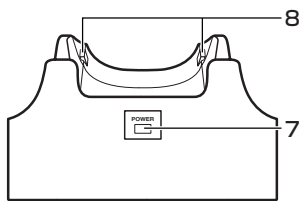
別売のI/Oボックス(HA-H60IO)は、DT-5300とパソコンなどとの間でUSBインターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、DT-5300を接続して充電電池パックを充電することができます。

## 各部の名称とはたらき

上面



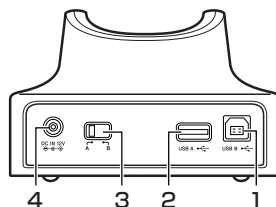
正面



右側面



背面

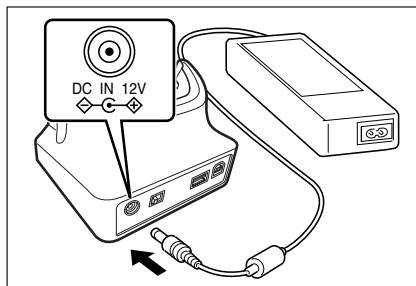


1	USBクライアント用ポート	USBケーブル(DT-380USB)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
2	USBホスト用ポート	対応するUSB周辺機器との接続に使用します。
3	切替スイッチ	USBホストとUSBクライアントの切替えを行うスイッチです。
4	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
5	本体装着検知用スイッチ	DT-5300が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
6	I/Oボックス端子	DT-5300へ電源を供給したり、USB通信を行う端子です。
7	電源表示用LED	電源の状態、DT-5300の装着状態を表示します。 消灯：DT-5300は装着されていません。 緑色点灯：電源ON、DT-5300が正常に装着されています。
8	DT-5300固定用フック	DT-5300をI/Oボックスに固定するとき 사용합니다。

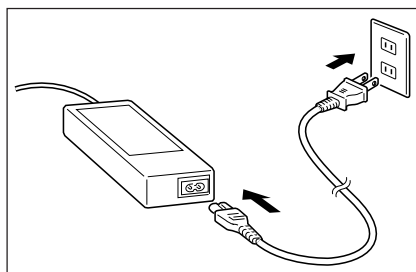
## I/Oボックスの電源の取り付けかたと接続

I/Oボックスの電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120B)を使用してください。  
DT-5300とデータ通信する前に必ずI/OボックスとACアダプタを接続してください。  
DT-5300への電源はI/Oボックスから供給されます。

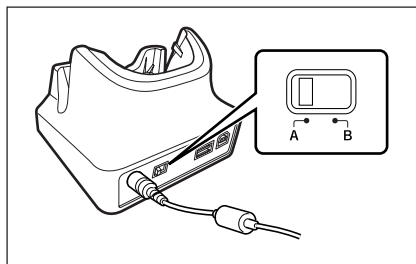
- 1** I/Oボックスの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。



- 2** 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

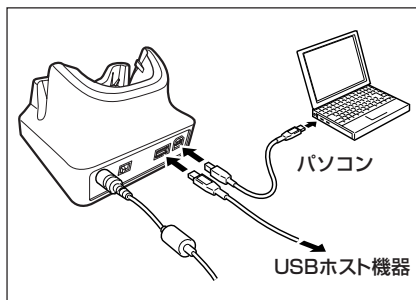


- 3** I/Oボックスの背面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。  
USBクライアントを使用する場合はB側に、USBホストを使用する場合はA側にセットしてください。



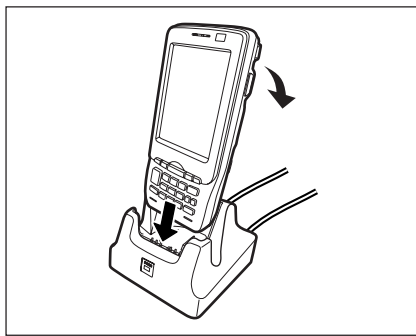
- 4 USBケーブル(DT-380USB)をI/Oボックス背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。



- 5 DT-5300底面の端子とI/Oボックスの給電端子を合わせるようにしてからI/Oボックスの固定用フックにDT-5300の固定部を合わせて装着します。

DT-5300が正しく装着されるとI/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。



## DT-5300のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点灯： 充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中  
(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

## 使用上のご注意

- USBインターフェースのスイッチを切り替えるときは、必ずDT-5300をI/Oボックスから外してください。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- I/Oボックスの給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- USBインターフェースでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。通信が切れる原因となります。

- DT-5300を装着する際は、I/Oボックスの固定用フックにしっかりと装着し、I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- USB クライアントおよびUSB ホストを同時に使用することはできません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。

## I/Oボックス(HA-H60IO)の仕様

### 1. USB仕様

規格	: USB Ver1.1 準拠
伝送速度	: 12Mbps(MAX)

### 2. 充電仕様

充電方式	: 定電流電圧方式
充電時間	: 約4時間(標準充電電池パック)
	: 約7時間(大容量充電電池パック)

### 3. 電源部

使用電源	: AD-S42120B
消費電流	: DC12V 2.0A
本体(DT-5300)出力	: DC5V 3.0A(MAX)
USBホスト出力	: DC5V 500mA(MAX)

### 4. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S42120B
入力	: AC 100-240V 50/60Hz 1.3-0.7A
出力	: DC 12V 3500mA

### 5. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約116(幅)×111.5(奥行)×83.5(高さ)mm
質量	: 約270g

### 6. 動作環境

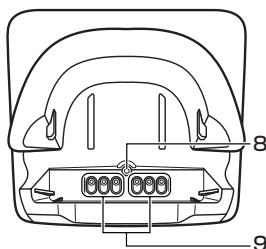
動作温度	: 0~40℃
動作湿度	: 10~90%RH(結露なきこと)

# LAN I/Oボックス(HA-H62IO)の取り扱い

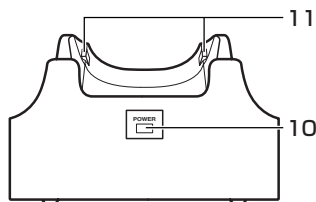
別売のLAN I/Oボックス(HA-H62IO)は、DT-5300とパソコンなどとの間でUSBインターフェースやLANインターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、DT-5300を接続して充電電池パックを充電することができます。

## 各部の名称とはたらき

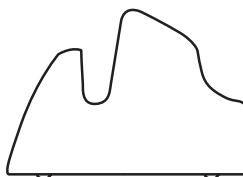
上面



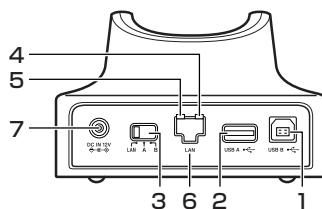
正面



右側面



背面

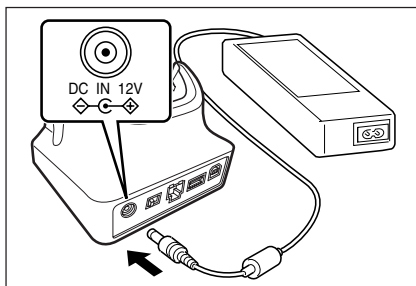


1	USBクライアント用ポート	USBケーブル(DT-380USB)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
2	USBホスト用ポート	対応するUSB周辺機器との接続に使用します。
3	切替スイッチ	USBホスト、USBクライアント、およびLAN切替えを行うスイッチです。
4	LAN 接続状態表示用LED	LANの接続状態を表示します。 消灯：LANケーブルが正しく接続されていません。 緑色点灯：LAN ケーブルが正しく接続されています。
5	LAN 通信状態表示用LED	LANの稼働状態を表示します。 消灯：通信していません。 緑色点滅：通信中です。
6	LAN 用ポート	LAN ケーブルを使ってパソコンやHUBへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップデート)を行います。 DT-5300に専用ドライバをインストールする必要があります。
7	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
8	本体装着検知用スイッチ	DT-5300が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
9	LAN I/Oボックス端子	DT-5300へ電源を供給したり、通信を行う端子です。
10	電源表示用LED	電源の状態、DT-5300の装着状態を表示します。 消灯：DT-5300は装着されていません。 緑色点灯：電源ON、DT-5300が正常に装着されています。
11	DT-5300固定用フック	DT-5300をLAN I/Oボックスに固定するとき 사용합니다。

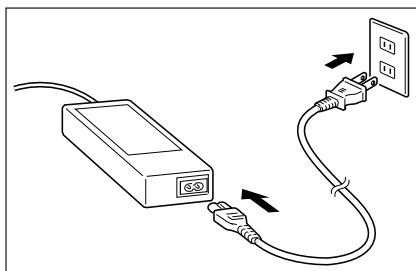
## LAN I/Oボックスの電源の取り付けかたと接続

LAN I/Oボックスの電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120B)を使用してください。  
DT-5300とデータ通信する前に必ずLAN I/OボックスとACアダプタを接続してください。  
DT-5300への電源はLAN I/Oボックスから供給されます。

- 1 LAN I/Oボックスの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

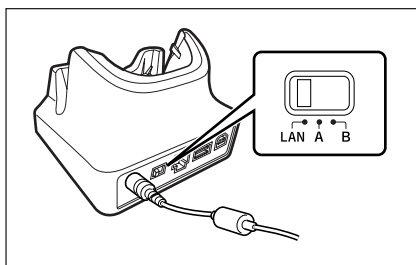


- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



- 3 LAN I/Oボックスの背面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。

LAN用ポートを使用する場合はLAN側に、  
USBクライアントを使用する場合はB側に、  
USBホストを使用する場合はA側に  
セットしてください。

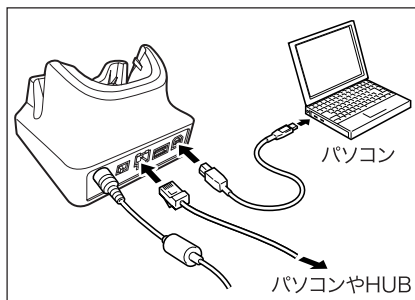


- 4 使用する前にポートに付いているキャップを取り外してください。

LANを使用するときは、LAN用ポートにLANケーブルを接続し、パソコンやHUBへ接続します

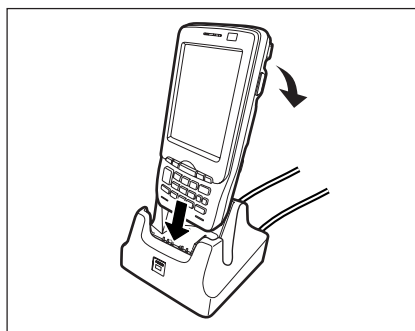
USBケーブル(DT-380USB)をLAN I/Oボックス背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。



- 5 DT-5300底面の端子とLAN I/Oボックスの給電端子を合わせるようにしてからLAN I/Oボックスの固定用フックにDT-5300の固定部を合わせて装着します。

DT-5300が正しく装着されるとLAN I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。



### DT-5300のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点灯： 充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中  
(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

### 使用上のご注意

- LAN、USBクライアント、およびUSBホストのスイッチを切り替えるときは、必ずDT-5300をLAN I/Oボックスから外してください。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。



- LAN I/Oボックスの給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。通信が切れる原因となります。
- DT-5300を装着する際は、LAN I/Oボックスの固定用フックにしっかりと装着し、LAN I/Oボックス前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストを同時に使用することはできません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。

## LAN I/Oボックス(HA-H62IO)の仕様

### 1. LAN仕様

- 通信方式 : IEEE 802.3準拠
- メディアタイプ : 10base-T/100base-TX自動切換

### 2. USB仕様

- 規格 : USB Ver1.1準拠
- 伝送速度 : 12Mbps(MAX)

### 3. 充電仕様

- 充電方式 : 定電流電圧方式
- 充電時間 : 約4時間(標準充電電池パック)
- : 約7時間(大容量充電電池パック)

### 4. 電源部

- 使用電源 : AD-S42120B
- 消費電流 : DC12V 2.0A
- 本体(DT-5300)出力 : DC5V 3.0A (MAX)
- USBホスト出力 : DC5V 500mA (MAX)

### 5. ACアダプタ仕様

- 規格名 : AD-S42120B
- 入力 : AC 100-240V 50/60Hz 1.3-0.7A
- 出力 : DC 12V 3500mA

### 6. 外形寸法・質量

- 外形寸法 : 約116(幅)×111.5(奥行)×83.5(高さ)mm
- 質量 : 約280g

### 7. 動作環境

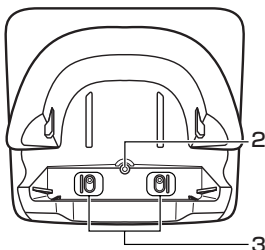
- 動作温度 : 0~40℃
- 動作湿度 : 10~90%RH(結露なきこと)

# 置くだけ充電器(HA-H30CHG)の取り扱い

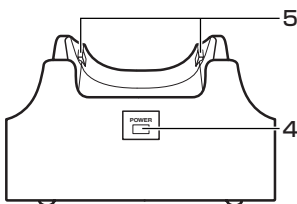
別売の置くだけ充電器(HA-H30CHG)は、DT-5300を接続して、充電電池パックを充電することができます。

## 各部の名称とはたらき

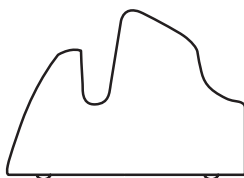
上面



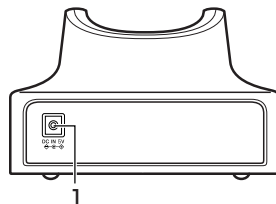
正面



右側面



背面

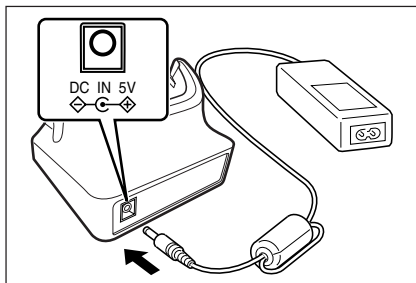


1	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
2	本体装着検知用スイッチ	DT-5300が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
3	給電端子	DT-5300へ電源を供給する端子です。
4	電源表示用LED	電源の状態、DT-5300の装着状態を表示します。 消灯： DT-5300は装着されていません。 緑色点灯： 電源ON、DT-5300が正常に装着されています。
5	DT-5300固定用フック	DT-5300を置くだけ充電器に固定するときに使用します。

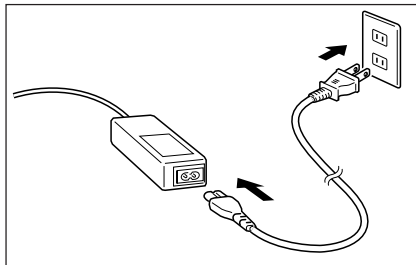
## 置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続

置くだけ充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S15050B)を使用してください。

- 1 置くだけ充電器の背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

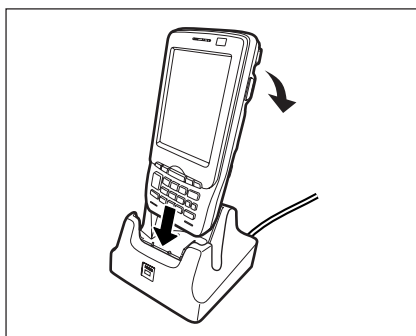


- 2 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



- 3 DT-5300底面の端子と置くだけ充電器の給電端子を合わせるようにしてから置くだけ充電器の固定用フックにDT-5300の固定部を合わせて装着します。

DT-5300が正しく装着されると置くだけ充電器前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。



### DT-5300のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点灯： 充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中  
(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

## 使用上のご注意

- 置くだけ充電器の給電端子は絶対にショートさせないでください。  
ショートさせると故障の原因となります。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- DT-5300を装着する際は、置くだけ充電器の固定用フックにしっかりと装着し、置くだけ充電器前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電が行えません。

## 置くだけ充電器(HA-H30CHG)の仕様

### 1. 充電仕様

充電方式	: 定電流電圧方式
充電時間	: 約4時間(標準充電電池パック) 約7時間(大容量充電電池パック)

### 2. 電源部

使用電源	: AD-S15050B
消費電流	: DC5V 3.0A
本体(DT-5300)出力	: DC5V 3.0A

### 3. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S15050B
入力	: AC 100-240V 50/60Hz 0.36A-0.2A
出力	: DC 5V 3.0A

### 4. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約116(幅)×111.5(奥行)×83.5(高さ)mm
質量	: 約260g

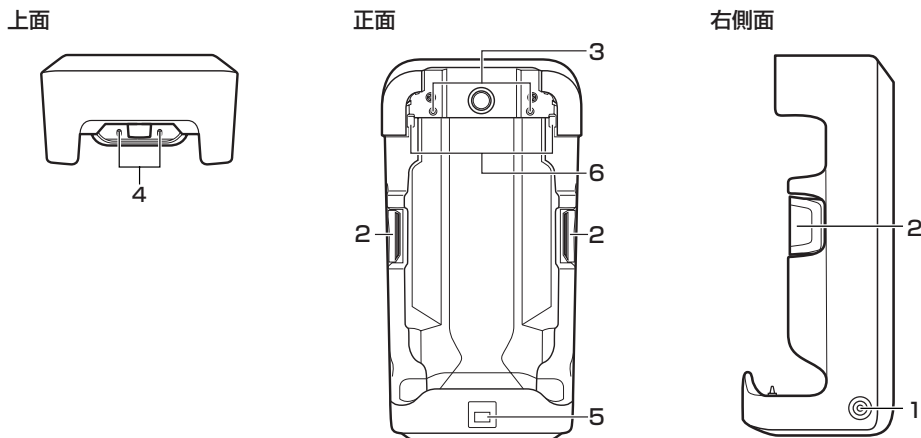
### 5. 動作環境

動作温度	: 0~40℃
動作湿度	: 10~90%RH(結露なきこと)

# ■ 車載充電器(HA-H35CHG)の取り扱い

別売の車載充電器(HA-H35CHG)は、車のシガレットライターの電源を使用してDT-5300に装着した充電電池パックを充電することができます。

## 各部の名称とはたらき



1	カーアダプタジャック	カーアダプタ(同梱)を接続して電源を供給します。
2	取り外しボタン	DT-5300を取り外すときに押します。
3	本体装着検知用スイッチ	DT-5300が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
4	給電端子	DT-5300へ電源を供給する端子です。
5	電源表示用LED	電源の状態、DT-5300の装着状態を表示します。 消灯： DT-5300は装着されていません。 緑色点灯： 電源ON、DT-5300が正常に装着されています。
6	DT-5300固定用フック	DT-5300を車載充電器に固定するときに使用します。

電話機能搭載モデルは設置する前にプレートを取り外してください。取り外しかたはP.26を参照してください。

## 使用上のご注意

- 車載充電器の給電端子は絶対にショートさせないでください。  
ショートさせると故障の原因となります。
- ご利用にあたり、当社では取り付けにかかわるご相談、実務等行うことはできません。  
車載充電器の取り付け方法、取り付け強度、取り付け作業につきましては専門の取り付け業者もしくはお客様にて充分なご検討ご検証いただいた上、ご運用いただけますようお願い申し上げます。
- 配線を抜き差しする際は、DT-5300の電源スイッチをOFFにしてください。
- エンジンを始動する場合は、DT-5300の電源スイッチをOFFにして行ってください。
- ご使用にならないときは、差し込みプラグをシガレットライターソケットから必ず外してください。車の故障の原因になったりバッテリーがあがることがあります。
- 車種によっては、差し込みプラグのサイズがシガレットライターソケット(DC12/24)の口径に合わない場合があります。ご注意ください(特に外国車など)。

## 車載充電器(HA-H35CHG)の仕様

### 1. 充電仕様

充電方式	: 定電流電圧方式
充電時間	: 約4時間(標準充電電池パック) 約7時間(大容量充電電池パック)

### 2. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約110(幅)×91.5(奥行)×195(高さ)mm
質量	: 約360g

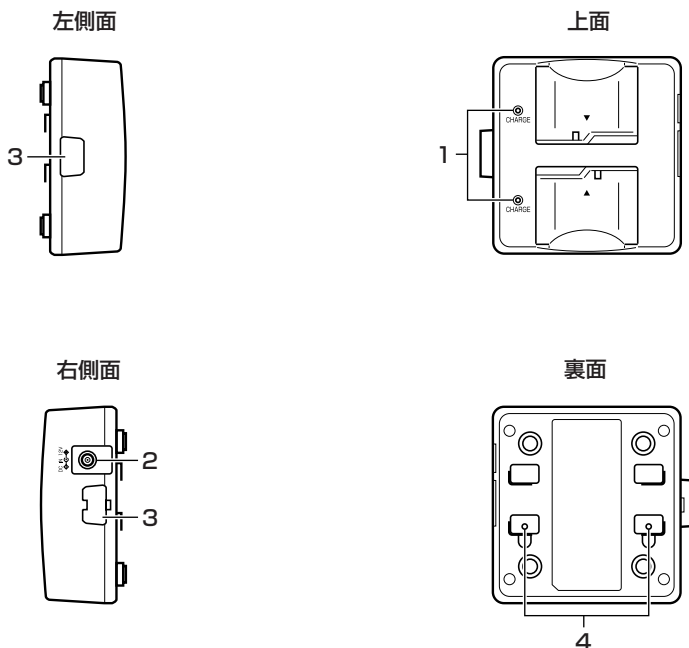
### 3. 動作環境

動作温度	: 0~40℃(充電時)
動作湿度	: 10~90%RH(結露なきこと)

# デュアル充電器(HA-D32DCHG)の取り扱い

別売のデュアル充電器(HA-D32DCHG)は、充電池パック2個を同時に充電することができます。

## 各部の名称とはたらき



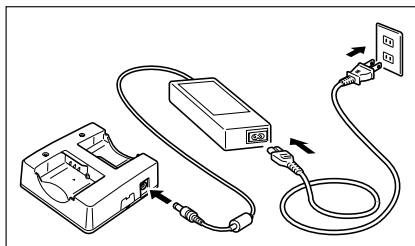
1	充電表示用LED	充電池パックの充電状態を表します。 消灯： 充電しないとき 赤色点灯： 充電中 赤色点滅： 電池パックの異常 緑色点滅： 充電待ち状態 緑色点灯： 充電完了
2	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
3	デュアル充電器接続用端子	デュアル充電器どうしの接続に使用します。
4	接続用アタッチメント取り付け部	デュアル充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。

## 充電のしかた

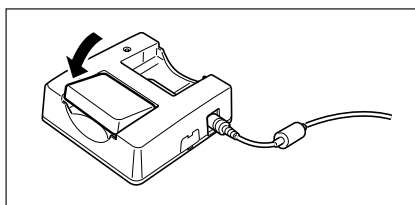
デュアル充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120B)を使用してください。

**1** デュアル充電器のACアダプタジャックにACアダプタのコネクタを差し込みます。

**2** 別売の専用ACアダプタのプラグをコンセントに接続します。



**3** 充電電池パックの端子の方向に注意してデュアル充電器に取り付けます。  
充電表示用LEDが、赤色に点灯して充電が開始されます



### 充電表示用LEDの表示

消灯： 充電しないとき

赤色点灯：充電中

赤色点滅：充電電池パックの異常

緑色点灯：充電完了

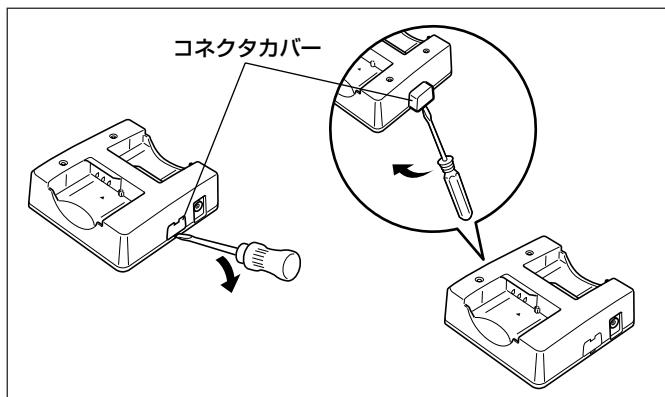
緑色点滅：充電可能温度(約0~40℃)でないため待機中  
(充電可能温度になると充電開始)



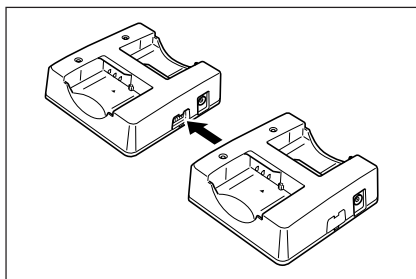
## 2台以上の接続

デュアル充電器を3台まで接続して、1つのACアダプタで使用することができます。

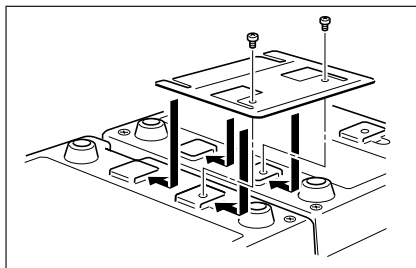
- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



- 2 デュアル充電器接続用コネクタを接続させます。



- 3 裏面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。  
同様にして最大3台まで接続することができます。



## 使用上のご注意

- ・ 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- ・ 充電中に充電池が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- ・ 充電中は充電器の上にカバーをするなど物を乗せないでください。
- ・ 充電中は充電池を外したりACアダプタを抜いたりしないでください。
- ・ 充電池の着脱を何回も繰り返すと、充電池の劣化の原因となります。
- ・ 接続用アタッチメントはデュアル充電器一台に一つ付属しています。複数のデュアル充電器を接続すると、接続用アタッチメントが一つ余ります。余った接続用アタッチメントは予備としてお使いください。

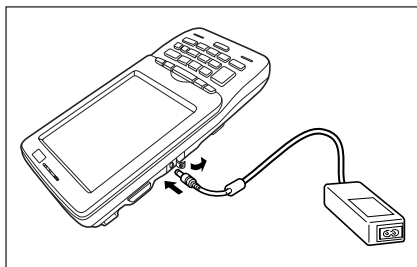
## デュアル充電器(HA-D32DCHG)の仕様

型式：	HA-D32DCHG		
充電：	充電方式：	定電流電圧方式	
	充電時間：	1個を装着した場合 約2時間(標準充電池パック1個、常温) 約4時間(大容量充電池パック1個、常温)	
		2個を同時に装置した場合 約3.5時間(標準充電池パック2個、常温) 約7時間(大容量充電池パック2個、常温)	
使用電源：	AD-S42120B		
消費電流：	約450mA		
使用温度：	約0～40℃		
外形寸法：	約幅110×奥行104×高さ46mm		
質量：	約195g		

# ■ ACアダプタ(AD-S15050B)の取り扱い

別売のACアダプタ(AD-S15050B)で、DT-5300に装着した充電電池パックを充電することができます。

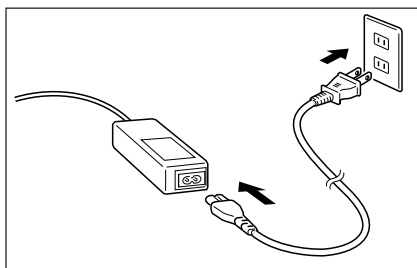
- 1 本体のDCジャックへACアダプタを差し込みます。



- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

充電が開始されたらオレンジ色が点灯します。

充電が終了したら、緑色が点灯します。



## DT-5300のインジケータ1の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点灯： 充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中  
(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

## 充電仕様

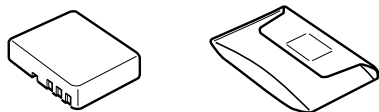
充電方式： 定電流電圧方式

充電時間： 約4時間(標準充電電池パック)

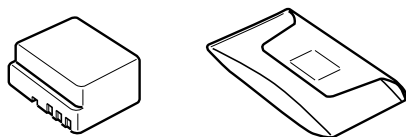
約7時間(大容量充電電池パック)

# 充電電池パック(HA-D20BAT/HA-D20BAT-A/HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A)の取り扱い

HA-D20BAT/HA-D20BAT-A



HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A



本機は、ご使用時間やご使用環境(オプションの使用など)に応じ、2種類の容量の充電電池パックを用意しております。

大容量充電電池パックをご使用になる場合は、同梱の大容量充電電池パック専用のカバーに交換してください。

## 使用上のご注意

- 充電電池パックを本体から外して保管するときは、必ず専用のソフトケースに入れてください。
- 充電電池パックを長期間使用されない場合、自然放電や充電電池パックの自己消費により使用できる容量が低下します。この充電電池パックを満充電にしても使用時間等の性能が満足できない場合は、寿命と思われるので、新しいものと交換してください。

## 標準充電電池パック(HA-D20BAT/HA-D20BAT-A)の仕様

型式：	HA-D20BAT/HA-D20BAT-A
公称容量：	1850mAh
公称電圧：	3.7V
外形寸法：	約幅52.5×奥行40×高さ13.5mm
質量：	約46g
付属品：	ソフトケース

## 大容量充電電池パック(HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A)の仕様

型式：	HA-D21LBAT/HA-D21LBAT-A
公称容量：	3700mAh
公称電圧：	3.7V
外形寸法：	約幅52.5×奥行40×高さ25mm
質量：	約86g
付属品：	ソフトケース

## 修理に関する窓口

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

### 修理の相談窓口

- 修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

#### 情報機器コールセンター



**0570-022066**

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日

AM9:00～PM5:30

(日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、048-233-7241にお掛けください。

### 修理品受付窓口

- 修理依頼後の返却予定日、修理料金、故障内容などの問い合わせにつきましては下記窓口にお問い合わせください。

#### PAリペアーセンター



**0570-011330**

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～金曜日

AM9:00～PM5:30

(土・日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

住 所：〒409-3896

山梨県中央市一町畑217

甲府カシオ4号棟内

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、055-240-3185にお掛けください。